

第7回岩手県分権推進会議における意見等について

委員名 大船渡市長 甘竹 勝郎

項目	意見等
義務付け・枠付け、 関与について	特になし。
市町村の水平補完 について	分権型社会の形成を進めるためには、比較的小規模な市町村が水平補完的な組織を作り、スケールメリットを活かした行政サービスの水準維持や専門性の高い事務への対応等をしていく必要があると考える。
直轄事業負担金等 について	岩手県は県事業に係る市町村負担の詳細を説明する方針を固めたが、国においても、住民への説明責任や行政の透明性を高めるため、直轄事業負担金に関する情報開示を進めるとともに、国と地方の役割分担や財源配分を根本的に見直す必要があると考える。